



嘉島町議会  
第24号

平成29年10月27日



# 議会だより



JAかみましき嘉島カントリーエレベーター竣工

## 9月定例会

## 目次

9月定例会	2~3
人権研修会	
東部地区配水場整備工事起工式	3
町政のここが聞きたい一般質問(2名)	4~5
組合議会研修報告・議員研修報告	6~8
一部事務組合議会報告	9
主な議会活動	10

## 報 告

平成29年 第3回  
9月定例会  
9月4日～9月8日

- 平成28年度決算に基づく健全化判断比率の報告について
  - ・普通会計の財源の健全化の基準となるもの（実質赤字比率、実質公債費比率等）
- 平成28年度決算に基づく資金不足比率の報告について
  - ・公営企業会計（下水道事業、簡易水道事業）の資金不足状況を示すもの

報告のほか、条例改正、補正予算、決算認定、議員提出議案など25件が提案され全案件を可決・認定しました。

## 議案審議 可決された議案

- 嘉島町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い本条例を制定するもの
- 嘉島町工場立地法準則条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い本条例を制定するもの
- 嘉島町工場等設置奨励条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い本条例を制定するもの
- 嘉島町税特別措置条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い本条例を制定するもの
- 嘉島町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例の制定について
  - ・子ども・子育て支援制度における幼稚園の利用者負担の上限額に係る特例措置の拡充を図るため本条例を制定するもの
- 土地の取得について
  - ・嘉島町災害公営住宅用地の土地売買契約締結のため議会の議決を求めるもの
- 嘉島町民体育館災害復旧工事請負契約の締結について
  - ・嘉島町民体育館災害復旧工事請負契約締結のため議会の議決を求めるもの
- 熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について
  - ・組合を組織する地方公共団体の名称変更に伴うもの
- 平成29年度嘉島町一般会計補正予算（第2号）
  - ・既定の歳入歳出予算に2億4,638万円を追加し、歳入歳出予算の総額を108億5,589万2千円に
- 平成29年度嘉島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
  - ・既定の歳入歳出予算に7,513万円を追加し、歳入歳出予算の総額を12億2,256万8千円に
- 平成29年度嘉島町住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）
  - ・既定の歳入歳出予算に22万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を41万4千円に
- 平成29年度嘉島町介護保険特別会計補正予算（第1号）
  - ・既定の歳入歳出予算に717万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億8,079万5千円に
- 平成29年度嘉島町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
  - ・既定の歳入歳出予算に3,642万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を5億4,289万3千円に
- 平成29年度嘉島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
  - ・既定の歳入歳出予算に121万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億1,500万5千円に
- 平成29年度嘉島町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
  - ・既定の歳入歳出予算に61万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億8,701万9千円に

## 認定議案 認定された議案

- 平成 28 年度嘉島町一般会計歳入歳出決算
- 平成 28 年度嘉島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 平成 28 年度嘉島町住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算
- 平成 28 年度嘉島町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 平成 28 年度嘉島町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 平成 28 年度嘉島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 平成 28 年度嘉島町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算

## 追加案件 可決された議案

- 議員提出議案第1号 熊本地震被災者の住宅再建に関する意見書の提出について
  - ・住宅全壊への助成及び半壊以上の応急修理費の増額並びに一部損壊に対する助成制度の新設を求めるもの
- 議員提出議案第2号 「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について
  - ・地球温暖化対策のための森林整備等に必要な財源に充てるため国民に等しく負担を求めるもの
- 議案第 61 号 嘉島処理区災害復旧工事（3工区）請負契約の締結について
  - ・嘉島処理区災害復旧工事（3工区）請負契約締結のため議会の議決を求めるもの

## 平成28年度決算状況（一般会計・特別会計）

単位：円

会計名		歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
一般会計		7,803,319,069	7,278,064,663	525,254,406
特別会計	国民健康保険	1,340,234,998	1,215,664,493	124,570,505
	住宅新築資金等貸付	544,695	250,000	294,695
	介護保険	748,320,735	712,181,617	36,139,118
	公共下水道事業	587,474,408	525,695,536	61,778,872
	後期高齢者医療	94,446,138	92,508,348	1,937,790
	簡易水道事業	41,870,881	40,879,334	991,547

### 東部台地開発 (ゆうすいの杜)の 配水場工事が始まる。

平成29年9月13日に、  
荒木町長他関係者の方々が  
集まり起工式が行われた。



#### 研修内容

#### 気になりますか？

- ①人種・家柄・性別・職業・血液型
- ②因習・迷信 六曜(先勝 友引…)  
十二支(子 丑 寅…)
- ③人の「生まれ」「出身地」だけで、人の値打ちを決めつける

と題し、私たちの思い込みや先入観などを無くすことで、  
差別のない社会を目指す研修をして頂きました。  
(研修内容の一部を紹介)



町議会議員研修

## 人権について

9月8日(金曜日) 講師 糸岡勇二氏  
議員全員で人権について更なる理解  
とあらゆる人権問題が無くなるよう  
毎年研修を受けています。



中津 芳春 議員

問 住宅再建の状況は

被災後1年5ヶ月が過ぎ、住宅再建も進んでいるが、仮設住宅（みなし仮設住宅含）から出られ、住宅を再建されたのはどのくらいか。また、住宅再建のための支援について尋ねます。

答 農政課長

仮設住宅の現在の入居者数ですが、応急仮設住宅は11団地208戸の整備を行い、昨年の6月より順次入居されています。8月15日現在で181世帯、460名の方が入居されています。また、みなし仮設住宅は138世帯427名の方が入居されています。住まいの再建などでは、応急仮設住宅では

35世帯101名の方が退去されています。理由として住宅の修復が4世帯、住宅の新築、購入が29世帯、施設への入所が2世帯となっています。

みなし仮設住宅では、15世帯46名の方が退去されており、すべての方が住宅の新築、購入が理由となっています。

答 町民課長

被災者再建支援制度で住宅の被害の程度に応じて、全壊の住宅で基礎支援金100万円、加算支援金200万円の給付制度があります。世帯の人数、住宅の被災の程度と住宅の再建方法により支援金の額も変わってきます。

平成29年7月31日現在、全体で648件8億1千687万5千円の支援金を支給しています。また、災害復興住宅融資制度では、被災された方で、自分が居住する住宅を建築、購入、補修する場合、住宅金融支援機構から低利な資金融資を受ける制度もあります。さらに、住まい復興

支援制度、住宅再建支援（二重ローン対策）事業などがあります。

町では、パンフレット（住まいの再建ガイドブック）を作成し、仮設住宅、みなし仮設住宅へ入居されている方に配布しています。

また、町のホームページに掲載し、さらに、パンフレットを各課の窓口を設置し、町民の相談に対応しております。

問 企業誘致による税収はどのくらいか

企業誘致が進んでいるが、町にとって税収増はどのくらいか。また、税収増による町民のメリットは何か尋ねます。

答 税務課長

平成24年から平成28年度までの直近5年間の新たな進出企業について説明します。

直近5年間の新たな進出企業は、平成25年に1社、平成28年に4社の計5社であり、税収は法人町民税100万円、固定資産税が820万円、計920万円の増加となっ

ています。

また、本年度に進出決定した企業等については、法人町民税は事業開始年度以降から、また、固定資産税は1月1日が基準日となっていますので、平成30年1月1日に企業が所有する土地、家屋及び償却資産については、平成30年度に賦課することになります。

税収増による町民のメリットにつきましては、税収が増加すれば町の財源が潤いますので、行政サービスが充実することが考えられます。

その他にも、企業の進出に伴い雇用の場が増えるというメリットもあります。

答 弁を受けて

行政サービスが良くなったと町民ひとりひとりが実感できるように、更に充実することを期待します。





鍋田 平 議員

**問** 避難所として指定の嘉島西小学校体育館の雨漏り対策について

近年、各地で自然災害が発生し、避難所として学校の体育館が活用されています。嘉島町でも、災害時は中学校の体育館も避難所として活用されていると思いますが、避難所として常時活用できるように整備が必要ではないかと思われま

**答** 学校教育課長

嘉島西小学校体育館は、一部雨漏りが見受

けられる状況がございます。雨漏りにつきましては、応急的な修理ができるものは早急に対応を図りたいと考えております。

時期につきましては、専門業者等の確保が厳しい状況にあり時間を要する場合も考えられますが、できるだけ早く対処できるように取り組んで参りたいと考えております。

**問** 豪雨による水路の溢れ対策について

集中豪雨により滝河原宮崎商店横の水路が詰まり同尻公園付近の水路が溢れました。また、嘉島近隣公園付近でも同様な事態が発生しています。

今後、ゲリラ豪雨等で水路の詰まりが原因の災害が予想されますが、ゴミ詰まり対策及び安全対策はどのような考えでおられるのかお尋ねします。

**答** 建設課長

質問の水路は大半が開水路で、一部において暗渠区間が存在します。暗渠の飲み口部に

は、水路への転落者の保護と暗渠内部のゴミ堆積を防止するための鉄格子(スクリーン)を設置しております。

今回ご質問の「水路からの溢れ問題」に關しましては、該当スクリーンに過剰にゴミが堆積したことで水路の流れを阻害したことが要因と考えられます。これまで水路及びスクリーンの管理におきましては各行政区のご協力のもと、堆積したゴミの撤去などは定期的に行って頂いておりましたが、今後は町としましては雨季及び台風時においては細心の注意を払い維持管理に努めて参ります。

**問** 嘉島町公民館近隣公園分館のエアコン設置について

現在、町管理の嘉島町公民館近隣公園分館は仮設住宅の集会場として活用されています。しかし、小会議室にはエアコンが設置されていませんが、大会議室にはエアコンが設置されているため猛暑での利用が困難なので、早急にエアコンを設置

**答** 社会教育課長

平成28年熊本地震にて、嘉島町公民館近隣公園分館が被災し、平成28年8月9月に災害復旧工事の設計業務を委託。平成29年2月に工事発注の契約を締結しました。

復旧工事は平成29年3月24日に完了し、4月から「近隣公園仮設団地のみんないの家」及び「支えあいセンター」の支援活動の場として使用されています。

平成29年6月頃「大広間にエアコンを設置してほしい」と利用者、支えあいセンターの方々からの要望があり、公民館施設を仮設施設「みんなの家」で使用する場合、空調設備等の補助金を受けられないか、国・県へ町関係担当課で協議・現状把握をしてきましたが、平成29年度に該当する補助金等がなかったため、ご質問のエアコン設置については、一般会計補正予算に計上し、本議会へ提案させていただきます。

議会の議決を経たのち、速やかに「取付け工事」のための業務に着手したいと考えております。

当面は「みんなの家」及び「支えあいセンター」支援活動の場として使用していただき、事業終了後は公民館分館として運営を行います。



## 平成29年度 益城、嘉島、西原環境衛生施設組合 議員先進地視察研修報告

【研修者】 木下徹議長・鍋田平議員・他2町議員

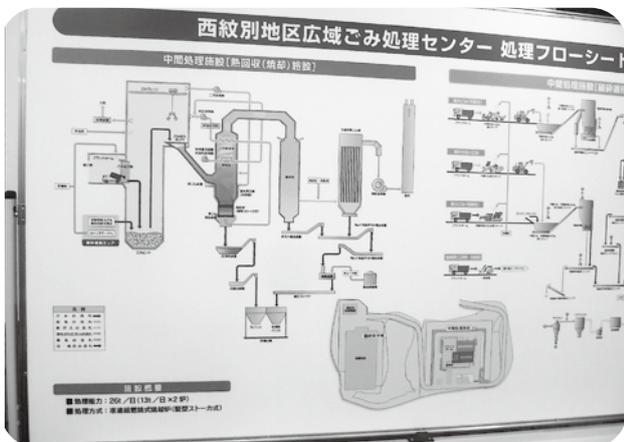
期 日：平成29年9月27日(水曜日)～平成29年9月30日(土曜日) (報告者 鍋田 平)

### 研修の目的

私たちが利用している処理施設が老朽化している事や、今後広域的にゴミ処理を推進する新たな処理施設が必要になったことから今回4施設を視察研修しました。

各施設では、「環境保全への配慮」を基本方針に施設の建設が行われていました。

### 北海道 紋別市 西紋別広域ごみ処理センター



準連続燃焼焼却炉（堅型ストーカ炉方式）を採用。屋根で覆われたクローズド型の最終処分場を有し、降雨や降雪などの影響をうけずに計画的な安定化と適正な埋め立て処分をおこなっている。

### 北海道 斜里町 エコクリーンセンターみらいあーる



一般ごみを細かく砕き、高温圧縮処理することで資源化（バイオ燃料化）する循環方式を採用。製造されたバイオ燃料は、ボイラーの燃料として活用。

### 北海道 札幌市 中・北空知エネクリーン



全連続ストーカ方式を採用。余熱利用設備では蒸気タービン設備で発電を行うなど、再生エネルギーも有効に活用されている。

### 北海道 岩見沢市 いわみざわ環境クリーンプラザ



全連続ストーカ方式を採用。余熱利用設備では蒸気タービンで発電を行い発電効率は12%以上。

## 平成29年度 御船地区衛生施設組合 議員先進地視察研修報告

【研修者】 森田義雄議長・春日堅一議員・藤木御船町長・奥名甲佐町長・他3町議員及び職員含め14名  
期 日：平成29年9月27日（水曜日）～9月29日（金曜日）（報告者 春日 堅一）

### 研修の目的

当組合のし尿処理施設は、稼動後27年を経過しようとしており、老朽化による設備の更新時期を迎えている。管理運営上、コストの削減を目標に置き、数々の施策を施しながら耐用年数の延伸を図ってきましたが、昨年の熊本地震の影響による施設機能の低下、設備機器の性能低下が見受けられるため、早急に、より適切な延命対策を講ずる必要がある。

また、施設を更新するうえにおいて、下水道の利用及び汚泥再生処理センターの建設を見据えた施策が必要となりますが、今回の熊本地震による当施設の地盤沈下や法面崩壊などの被害状況を考えると、早急な施設の移転も視野に入れ、施設の更新整備を検討していく必要があると考えられます。

今後の施設の整備計画等に役立てていければと、下記2箇所の研修を行いました。

### ○研修先1:宮城県岩沼市亘理名取共立衛生処理組合（岩沼東部環境センター ぽぽか）

当組合は、宮城県南東部に位置し、仙台市と隣接する名取市と岩沼市、亘理町及び福島県を境とする山元町の2市2町で構成している。

本地域は、仙台平野の南部にあたり、西部に阿武隈山地の山並みが連なり、東は太平洋を臨み山や海の自然豊かな風光明媚で気候温暖な地域である。

中央部には平坦地が南北に伸びて、JR東北本線、常磐線、国道4号、6号、仙台東部道路が南北に平行して走り、さらに名取市と岩沼市との境界には国際空港である東北の空の玄関口仙台空港がある。

構成市町の人口は、平成18年度は166,088人であったが、平成21年度には168,569人と微増ではあるが増加傾向にあり今後も増加が見込まれる。しかしながら、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により構成市町は甚大な被害を受け、死亡者・行方不明者の数は2,000名を超え人口は大きく減少したが、震災後6年を経過し、復旧復興が進むにつれ人口も増加している。

今回、構成市町の施設はごみ処理施設4箇所、し尿処理施設1箇所があり、平成28年4月1日より稼動した岩沼東部環境センターを視察研修させて頂きました。

資源物として出されたものは選別処理を行い有価物として売却し、可燃ごみは焼却処理した後に焼却灰を一般廃棄物最終処分場に埋立て処分するまでの範囲で、これらの業務を民間業者に委託して円滑に行われていた。



## ○研修先2:山形県東根市外二市一町共立衛生処理組合(クリーンピア共立)

この組合は、東根市、村山市、天童市、川北町の3市1町で構成され、山形県の中央、村山盆地の北側で乱川扇状地の先端部分に位置し、東部に奥羽山脈、中央に山形県の母なる川〔最上川〕が貫流しており、地下水が豊富なところだ。

空の玄関山形空港を擁し、陸路は、国道13号・48号・287号・347号が縦横に交差し、東北中央自動車道の東根ICもあり、鉄道においても山形新幹線が、最寄のさくらんぼ東根駅に停車し県内外を結ぶ要所にあります。

構成市町の人口は、平成18年度は158,300名であったが、平成27年度においては154,424名と減少傾向にあるようです。

組合は一般廃棄物(ごみ・し尿)の処理や施設などの建設・管理・運営を共同で行うことを目的に昭和35年設立後、幾度かの施設整備を重ね、平成2年には、し尿処理施設の更新をし、平成23年には改造工事により県内初の下水道投入方式を採用したし尿処理施設が完成している。また、平成6年には、ごみ焼却処理施設の更新や粗大ごみ処理施設の整備を図っており、それと同時に、ごみ処理コストの抑制や効率的な施設運転を図るための分別収集を始めている。さらに、平成22年にはリサイクルセンターが完成し現在に至っている。なお、クリーンピア共立は、同一敷地内にし尿処理施設、ごみ処理施設、リサイクルセンター、粗大ごみ処理施設、最終処分場及び廃食用油燃料化施設があり、環境に配慮した廃棄物処理施設の一大拠点となっている。

現在、熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会において、ごみ処理施設等の建設候補地の選定がなされているが、建設費及び維持管理費を検討していくうえにおいても、廃棄物も効率的に処理でき、今の循環型社会の構想に合っていると感じた。



### 「議員発言について」

講師 古家 陽介氏  
(熊本県町村議会議長会 事務局長)



甲佐町役場 生涯学習センター 輝ホール

## 議員研修

(上益城郡町村議会議長会主催)  
10月6日(金曜日)

### 「熊本地震からの復旧 ・復興に向けての課題」

講師 五百旗頭 真氏  
(熊本県立大学 理事長)

### 「町村防災とは? 熊本地震の教訓とともに」

講師 有浦 隆氏  
(熊本県 危機管理防災企画監)



美里町文化交流センター ひびき

## 議員研修

(熊本県町村議会議長会主催)  
10月4日(水曜日)

## 上益城消防組合

**議会報告** 平成29年第2回定例会（平成29年8月16日開催）

決算認定及び補正予算、支援車の購入等が提案され、認定・可決しました。

- ・平成28年度一般会計歳入歳出決算について  
（歳入決算額 900,121,083 円 歳出決算額 866,768,010 円）
- ・平成29年度一般会計補正予算（第1号）について
- ・上益城消防組合長期継続を締結することができる契約を定める条例について
- ・支援車Ⅳ型の購入契約の締結について
- ・熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について

## 上益城広域連合

**議会報告** 平成29年第2回定例会（平成29年8月18日開催）

条例改正及び決算認定が提案され、可決・認定しました。

- ・上益城広域連合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・平成28年度一般会計歳入歳出決算について  
（歳入決算額 67,488,206 円 歳出決算額 62,242,169 円）

## 御船地区衛生施設組合

**議会報告** 平成29年第2回定例会（平成29年8月18日開催）

規約の一部変更及び決算認定、補正予算が提案され、可決・認定しました。

- ・熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について
- ・平成28年度一般会計歳入歳出決算について  
（歳入決算額 189,648,050 円 歳出決算額 173,036,557 円）
- ・平成29年度一般会計補正予算（第1号）について

## 益城、嘉島、西原環境衛生施設組合

**議会報告** 平成29年第2回定例会（平成29年8月21日開催）

規約の一部変更及び決算認定、補正予算が提案され、可決・認定しました。

- ・熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について
- ・平成28年度一般会計歳入歳出決算について  
（歳入決算額 1,312,335,298 円 歳出決算額 1,205,211,373 円）
- ・平成29年度一般会計補正予算（第1号）について

月 日	項 目	場所等
8月 3日	正副議長研修会(正副議長)	自治会館
8月 7日 ~9日	九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会提言活動(議長)	熊本・福岡・東京
8月10日	第2回臨時会 全員協議会	役場議会議場 議員控室
8月10日	嘉島町国民健康保険運営協議会(春日・川野)	役場庁議室
8月16日	上益城消防組合議会第2回定例会(川野)	組合事務所
8月17日	例月現金出納検査(清崎議選監査委員)	監査委員室
8月17日	九州中央自動車道建設促進地方大会(全議員)	ホテル熊本テルサ
8月18日	上益城広域連合議会第2回定例会(川上・清崎)	福祉センター
8月18日	御船地区衛生施設組合議会第2回定例会(森田・春日)	組合会議室
8月21日	益城、嘉島、西原環境衛生施設組合議会第2回定例会(木下・鍋田)	組合事務所
8月22日	主要地方道小川嘉島線整備促進期成会総会(議長)	甲佐町
8月22日	熊本都市計画事業東部台地土地区画整理審議会(議長・森田)	役場大会議室
8月22日	常任委員長・議会運営委員長研修会(正副議長・富山・鍋田・宮本)	美里町
8月24日 ~25日	九州中央自動車道建設促進期成会要望活動(議長)	熊本・福岡・東京
8月28日	議会運営委員会(正副議長・富山・鍋田・宮本)	役場庁議室
8月29日	第2回熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会(正副議長・森田)	甲佐町
9月 4日 ~8日	第3回定例会 全員協議会 議会議員人権研修会	役場議会議場 議員控室 役場中会議室
9月12日	嘉島町敬老会(正副議長)	嘉島町民会館
9月13日	東部地区配水場整備工事起工式(議長・森田・境野)	井寺
9月20日	第3回臨時会 全員協議会	役場議会議場 議員控室
9月20日	例月現金出納検査(清崎議選監査委員)	監査委員室
9月27日 ~30日	益城、嘉島、西原環境衛生施設組合議会視察研修(木下・鍋田)	北海道岩見沢市ほか
9月27日 ~29日	御船地区衛生施設組合議会視察研修(森田・春日)	宮城県岩沼市ほか

## 募集してます。【みなさんの意見などお聞かせ下さい。】

議会の事など、ご意見をお寄せ下さい。

又、議会だよりの「声」も募集しております。

※次の議会は、**12月**に開催予定です。

議会の傍聴は議会当日に手続きすれば、どなたでも傍聴できます。

「声」の募集や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局まで。(237-1111)

### 編集後記

地震、雷、火事、親父。怖いものの象徴とされる順番である。一番怖いとされる地震で、未曾有の被害が発生した熊本地震から1年半が過ぎ、町も復旧・復興へと一歩一歩進んでおり、少しずつ活力も戻りつつあるように感じています。また、黄色い田圃の収穫は、長引いた秋雨の影響でかなり遅れました。これから麦植えの準備が進むにつれ、日に日に寒くなります。健康管理に注意して過して頂きたいと思います。(森田)

発行責任者  
議長



委員 川野伸一  
委員 境野隆文  
委員 中津芳春  
委員 森田義雄  
副委員長 春日堅一  
委員長 宮本睦生